



2022年8月8日

日本鉄道労働組合連合会

J R 北 労 組 第 21 回 定 期 大 会

14人の新規加入者を迎え、さらなる組織の活性化を！

J R 北 労 組 は 7 月 30 日、札幌市内にて第 21 回定期大会を開催し、「安全の確立と、誰もが安心して働き続ける事ができる職場の構築を通じて、民主化闘争完遂、J R 北海道の経営自立を目指し、J R 産業の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現しよう！」をスローガンに掲げ、2022 年度の運動方針や予算を確立した。



新規加入者 12 人と昆委員長（後列左）、荻山会長（前列右）

また、昨年定期大会以降に J R 北 労 組 へ 加入した 14 人のうち大会に参加できた 12 人が登壇し、大会構成員に対してそれぞれ自己紹介を行うとともに、J R 北 労 組 加入への想いや今後に向けた決意を力強く語った。



主催者代表挨拶で昆弘美中央執行委員長（J R 連 合 副 会 長）は、単独維持困難線区の黄色線区に係る課題や新入社員等の組織拡大に係る課題を提起しつつ、2023 年の J R 北 労 組 ・ 結 成 20 周 年 の 節 目 に 向 け て、「大会に参集した皆さんが新たな歴史を創る中心であり、本日の大会を契機に組織活動を点検し、運動によって弱点を克服しよう」と呼びかけた。

来賓として、J R 連 合 「21 世 紀 の 鉄 道 を 考 え る 議 員 フォーラム」所属の神谷裕衆衆議院議員、J R 北 労 組 議 員 団 の 林 下 孤 芳 小 樽 市 議 会 議 員、藤原広昭札幌市議会議員が参加した。

J R 連 合 か ら は、荻 山 市 朗 会 長、相 良 夏 樹 組 織 局 長、鎗 光 俊 勝 労 働 政 策 局 長 が 参 画 し、代 表 して 荻 山 会 長 は、コ ロ ナ 禍 に お け る 雇 用 維 持 や 需 要 回 復 に 向 け た 取 り 組 み、転 換 期 を 迎 え る J R 産 業 の 今 後 に 向 け た、J R 二 島 貨 物 会 社 や 地 域 公 共 交 通、新 幹 線 ネットワークに係る提言策定の取り組みについて提起した。また、若手を中心とした新規加入の拡大について、「貨物鉄産労も年間で二桁の組織拡大を達成するなど、潮目が変わりつつある。ここからが正念場であり、拡大に向けた実践が重要だ」と呼び掛けた。



昨年度の経過報告では各種取り組みや決算に係る報告がなされたほか、組織拡大に係る取り組み報告がなされた。

2022 年 度 の 運 動 方 針 提 起 で は、こ れ ま で と 同 様 の 取 り 組 み に 加 え、「J R 北 労 組 退 職 者 連 絡 会（仮 称）」結 成 準 備 の 取 り 組 み も 提 起 さ れ た。質 疑 で は 代 議 員 5 人 か ら さ ら な る 組 織 拡 大 に 向 け た 取 り 組 み や 民 主 化 闘 争 継 承 の 重 要 性 等 に 関 す る 意 見 が 出 さ れ、運 動 方 針 が 補 強 さ れ た。

人見圭一書記長は総括答弁において、「今回の組織拡大は、地道な取り組みを行ってきたことの成果だ。必ず結果は出るので、組織が一致協力して身近な所から世話役活動に取り組みよう」と呼び掛けた。

その後、すべての議案が可決、役員改選も実施され、最後は昆中央執行委員長が再び「組織活動の点検」を呼び掛け、団結がんばろうで定期大会を締めくくった。